

～後世に遺そう美しい沿岸防災林～ 復興支援ボランティア 実施要項

3.11 の東日本大震災の津波により、宮城県名取市沿岸の黒松はすべて流されてしまいました。その後、「あの美しい松林を後世のために自分たちの手で取り戻したい」と、田中秀穂様（仙台事務所）を中心とした皆様が、黒松の植栽に向けて準備を進められ、2年前に植栽ボランティア活動が行われました。現在、その黒松は、スクスクと成長しています。

今回は黒松の育成を阻害する除草作業のボランティア作業を行います。雑草の根まで取り除くことで、黒松が太陽の光を浴び、大きく生長できるようになります。

「コンクリートで作った堤防は100年で壊れますが、この松林は1000年残ります」

これは田中秀穂様の言葉です。皆様の力を合わせて、後世に遺る美しい沿岸防災林を創出し、被災地の方々の暮らしの復興と、地域環境の改善のお力添えをご一緒に活動してみませんか。

1. 日 程：5月27日（土）～28日（日）
2. 対 象：震災被災地へ心を寄せ、復興活動に寄与したい方
3. 募集人数：50名程度（東北ブロック人数除く）
4. 参加費：7,000円（大型バス乗車の方）
5,000円（学生・東日本センター合流の方）
5. 内 容：宮城県名取市（仙台空港隣）の海岸にて防災用松林の除草作業（約2時間）
東日本大震災被災地の視察、各ブロック青年の交流
6. 持物服装：宿泊用具、保険証、軽作業しやすい服装、動きやすい靴、タオル、軍手、志（※雨天決行です。その場合、雨合羽・長靴を持参してください）
7. 宿泊場所：東日本生涯学習センター（福島県伊達市保原町大柳字羽山下1-1）
8. 申し込み：<http://prt.nu/2/tohoku> か、右下 QR コードよりお申し込み下さい
9. 締め切り：5月21日（日）
10. 主 催：復興支援ボランティア実行委員会（関東：石川・江原、東京：渡辺・俣野）
11. 問合せ先：モラロジー研究所青年部（浜島・岡田）
Tel: 04-7173-3312、Fax: 04-7176-1177
e-mail: seinen@moralogy.jp



<タイムスケジュール案>

【5月27日（土）】

- 8:00 新宿駅周辺発（大型バス1台）
10:00 廣池学園着（総合案内所前）
10:15 廣池学園発
（途中 SA で昼食）
15:15 常磐道常磐富岡 IC から一般道
国道6号 ※避難区域地区走行
16:00 常磐道 浪江 IC
（南相馬鹿島 SA で休憩）
17:00 常磐道 相馬 IC から一般道
18:15 滝澤さん（維持員）コンビニで
翌日の朝食を各自調達
18:30 東日本生涯学習センター着
（福島県伊達市保原長大柳字羽山下 1-1、
Tel: 024-575-3245）
19:00 懇親会
21:00 入浴・就寝

【5月28日（日）】

- 6:30 起床・準備・朝食
7:45 東日本センター発
9:30 仙台空港着
（トイレ休憩・当日参加者と合流）
9:45 仙台空港発
10:00 仙台空港横
沿岸被災地ボランティア場所着
（ボランティア活動）
12:15 ボランティア場所発
12:45 仙台市内 or 名取市内にて
温泉入浴・昼食
14:00 昼食場所発
14:30 名取市閑上地区着
（ガイド付き視察）
15:30 名取市閑上地区発
20:00 廣池学園着
21:30 新宿駅周辺着

宮城県名取市海岸植林ボランティアについて



仙台空港 午後4時



仙台空港 1999年9月撮影



仙台空港 2011年3月27日撮影

2011年3月11日の東日本大震災により、宮城県の仙台空港も津波により大きな被害を受けました。空港の隣接していた防災林の松林も全てなぎ倒されてしまいました。



着工前



石拾い



土壌改良剤配布

モラロジーの団体維持員である(株)ガーデン二賀地(田中秀穂会長・仙台モラロジー事務所)の社員有志が5年前から海岸防災林の再生を目指した植樹ボランティアを始めました。



みんなで大事に育てました。



クロマツの苗は仙台市や名取市の小学校に預けて、育てていただきました。田中会長は何度も小学校を回って、松を自分達の手で育て、植林し、防災林を再生することの必要性をお話しされました。



H27. 3. 21 有志で開催した植林ボランティア



H27. 7. 19 全国の青年代表が参加した草取りボランティア



その後、何回かに分けて植林をした松は現在、グングンと成長しています。それとともに周りの草も成長しており、環境整備が追いついていないのが現状です。今回、松がさらに育成するよう草取りなどの整理をするボランティア活動を行います。

千年後も遺る美しい沿岸防災林として被災地の方々の暮らしを支えていけるように、皆様の力とお心をお寄せいただきますようお願いいたします。